

【科目名】物理療法学		【担当教員】浅海岩生						
【授業区分】 専門分野（理学療法治療学）	【授業コード】 3-17-0600-0-1	(メールアドレス) igasami@nur05.onmicrosoft.com						
【開講時期】2 年次後期	【選択必修】必修	(オフィスアワー) 8:30～17:30						
【単位数】2 単位	【コマ数】15 コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ・特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・物理学の知識が必要となることがあるので1年次に「物理学」の履修が勧められる。								
【講義概要】 (目的) 疾病の治療もしくは症状の改善を目的に行われる物理療法を、適応となる疾病と生理学に基づいた個々の物理療法手段の治療的根拠を理解し、物理療法の効果、適応と禁忌について学修することを目的とする。 (方法) 講義主体の授業です。								
【一般教育目標(GIO)】 ・ 物理療法の治療概念、治療根拠について理解する。								
【行動目標(SBO)】 ・ 代表的物理療法についてその概念と治療方法を説明できる。								
【教科書・リザーブドブック】 株式会社 南江堂 物理療法学テキスト(改訂第2版) 4500 円								
【参考書】								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・ 成績評価基準は本学学則規定のG P A制度に従う。 ・ 期末試験および授業への参加姿勢の評点による。								
【達成度評価】	試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合	85						15	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	55						55
	思考・推論・創造の力	30						30
	コラボレーションとリーダーシップ							
	発表力							

平成 26～28 年度入学者用

	学修に取り組む姿勢						15	15
【授業日程と内容】								
回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)				
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理療法の概要と定義を学ぶ</li> <li>物理学の進歩と物理療法の歴史について学ぶ。</li> </ul>	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>理学療法の中での物理療法の位置づけについて調べておく。</li> <li>物理学の発展と物理療法の発展について関連付けて学修する。</li> </ul>	15分 25分				
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>痛みのメカニズムと物理療法による抑制</li> <li>物理療法の生理学的効果の概要を学ぶ</li> <li>物理療法の適応と禁忌について学ぶ</li> </ul>	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>痛みの受容器・伝導路について調べておく。</li> <li>物理療法の生理学的作用と治療効果および適応・禁忌を理解する。</li> </ul>	15分 20分				
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>温熱療法の概要を学ぶ</li> <li>ホットパック療法について学ぶ</li> </ul>	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>体温調整の仕組みについて調べておく。</li> <li>温熱療法の生理学的作用とホットパック療法について理解する。</li> </ul>	15分 25分				
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>パラフィン浴について学ぶ。</li> <li>エネルギー変換熱の概要について学ぶ。</li> </ul>	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常で使用される電磁波について調べておく。</li> <li>各種の温熱療法の適応と選択について学ぶ。</li> </ul>	10分 20分				
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>極超短波療法について学ぶ。</li> <li>超短波療法について学ぶ。</li> </ul>	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角関数について復習しておく。</li> <li>変換熱の適応と禁忌について復習する。</li> </ul>	15分 20分				
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>超音波療法について学ぶ。</li> </ul>	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>超音波の特性を調べておく。</li> <li>超音波療法の非温熱効果と温熱効果についてまとめる。</li> </ul>	10分 20分				
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>光線療法の概要を学ぶ。</li> <li>赤外線療法について学ぶ。</li> </ul>	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>可視光線と赤外線・紫外線の関係を理解しておく。</li> <li>赤外線と他の温熱療法の使い分けについて整理しておく。</li> </ul>	10分 15分				
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>紫外線療法について学ぶ。</li> </ul>	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>紫外線の副作用について理解しておく。</li> <li>紫外線の適応と治療量の決定について復習する。</li> </ul>	10分 20分				
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>レーザー光線療法について学ぶ。</li> <li>LLLT と HLLT について</li> </ul>	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>レーザー光線はどのような分野で使用されているか調べる。</li> </ul>	10分				

平成 26～28 年度入学者用

			・ LLLT の生理学的作用と適応についてまとめる。	20 分
10	・ 寒冷療法の概要について学ぶ。 ・ 伝導冷却法、気化冷却法について学ぶ。	講義	・ 冷刺激に対する生体反応について調べておく。 ・ 寒冷療法の生理学的作用と各種の手技の使い分けについて理解する。	15 分 20 分
11	・ 電気刺激療法の概要について学ぶ。 ・ 電気生理学的評価法について学ぶ。	講義	・ 電流・電圧とは何か調べておく。 ・ 各種の電気刺激の特性と適応についてまとめておく。 ・ 神経筋の変性に対する評価はどのようなものがあるか整理する。	10 分 10 分 10 分
12	・ 経皮的電気神経刺激(TENS)について学ぶ。 ・ 神経筋電気刺激(NMES)について学ぶ。	講義	・ 痛みの伝導路・抑制メカニズムについて復習しておく。 ・ TENS,NMES の特徴、適応、禁忌について復習する。	15 分 20 分
13	・ 機能的電気刺激療法(FES)について学ぶ。 ・ バイオフィードバック療法について学ぶ。	講義	・ 刺激電極の種類と特徴、フィードバックとは何か調べておく。 ・ FES,バイオフィードバック療法の適応について整理する。	15 分 20 分
14	・ 牽引療法について学ぶ。 ・ 持続的他動運動装置(CPM)について学ぶ。	講義	・ 腰痛症と変形性関節症について調べておく。 ・ 牽引療法と CPM の適応と禁忌について整理しておく。	20 分 20 分
15	・ 水治療法の概要について学ぶ。 ・ 部分浴、全身浴について学ぶ。	講義	・ 水圧が人体に及ぼす影響について調べておく。 ・ 部分浴・全身浴の適応と禁忌について整理する。	15 分 20 分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。